

インドネシア

局外設備保守センター建設事業



局外設備保守センター

[借款概要]

承諾額/実行額	6,537百万円 / 5,169百万円
借款契約調印	1990年12月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1995年12月

[事業概要]

インドネシア全国で局外設備保守センターを建設することにより、加入者ケーブルの保守の効率化と電話サービスの信頼性の向上を図り通信需要の増加に対応するもの。

[評価結果]

本事業は、これまで電話交換局ごとに行ってきた加入者ケーブルの保守を独立した局外設備の保守センターに集中して行うようにするものであり、我が国の無償資金協力によりバンドン市に建設したモデルセンターの成果を踏まえて全国展開を図ったものである。

ジャカルタ、メダン、ウジュンパンダン等に15カ所の保守センターが建設され、測定機機等の保守用資機材の調達を含め、事業は1996年末に完成した。

ウジュンパンダンを例に見ると、障害発生率は保守センターの運用を開始した1997年の8%から2001年には1%へと減少し、3日以内障害回復率は60%から95%へと大きく改善した。本事業が加入者ケーブルの保守の改善に貢献したことが窺える。

なお、実施機関の国営電話公社は1991年に株式会社化されたが、同社の財務状況、技術力は良好であり施設の維持管理に問題はない。